

第14回定期全国大会を開催！

JP労組は、6月16日～17日に岩手県滝沢市内にて「第14回定期全国大会」を、Webとリアルハイブリッド形式で開催しました。開会冒頭、東日本大震災から10年が経過し、被災された方々に対し大会構成員全員で黙祷を捧げました。

大会では、各地本と青年・女性代表の15名が発言しました。南関東からは川崎東支部の若宮代議員が、「南関東は、神奈川県川崎市生まれである「しば慎一候補者」を準出身地本として小沢選挙同様、全力で取り組む」と、しば選挙に向けた決意と「新しいかんぽ営業体制の構築」をはじめとする各種課題、問題意識について力強く発言しました。



【若宮代議員の発言の様子】

【しば候補（中央）と南関東の代議員・傍聴者】

【増田中央本部執行委員長あいさつ（抜粋）】

「JP労組は、組合員とその家族の将来にわたる生活を守ることが重要な使命であり、そのためにも、事業を持続・発展させていくための事業改革が必須との危機感をもって、現場目線での提言を経営に反映させるため「JP労組が考える事業ビジョン（案）」を軸とした組織内議論を展開するとともに、経営側に改善を求めていく必要がある。

また、将来にわたる事業の持続性確保に向けては、事業の構造改革に伴う今後の働き方の変化に合わせ、労働力政策や人事・給与制度等の検討も必要であり、それらは賃金・手当、採用・登用政策等とも密接に関係することから、中期的な課題としてとらえ、組織内議論を組み立てるとともに、会社との協議に臨んでいく」

第26回参議院議員選挙組織内候補者



【しば慎一中央本部副執行委員長の挨拶の様子】

【中央本部役員選挙】

中央本部の役員選挙において南関東から鈴木一美執行委員が立候補し、信任455票を獲得し当選を確認しました。南関東の組合員の声を交渉に反映させていきます。



【南関東選出の鈴木中央執行委員】

【ユースネットワーク社会貢献活動】

書損葉書集約活動76,806枚、金額にして4,002,475円を岩手県社会福祉協議会へ寄贈し感謝状が贈呈されました。ご協力いただきました組合員の皆さん、ありがとうございました。



【各号議案一票投票結果】

| 投票の種類 | 代議員定数 | 投票案内数 | 有効 | | | 無効 | 棄権 |
|-------|-------|-------|-----|-----|----|----|----|
| | | | 投票数 | 賛成 | | | |
| | | | | 賛成 | 反対 | | |
| 第1号議案 | 482 | 477 | 475 | 407 | 68 | 2 | 0 |
| 第2号議案 | 482 | 477 | 476 | 446 | 30 | 1 | 0 |

大会宣言（案）

私たちは、東日本大震災から10年という節目にあたり、東北・岩手の地で第14回定期全国大会を開催した。被災を通じて経験した教訓と、「心ひとつに運動」を通じて得た組織と仲間の連帯・協力の大切さをあらためて共有し、将来に想いと行動をつなげていく。

また、コロナ禍と向き合いつつ、デジタル化をはじめとした四囲の環境変化もふまえ、JP労組運動をさらに力強く進めていくために、中期的な運動の基本方針に新たな視点を加えたうえで、真摯な議論のもと2年間の運動方針を確立した。

日本郵政グループは、郵政創業150年という大きな節目を迎え、5月には新中期経営計画（JPビジョン2025）を公表し、グループの新たな成長を実現するとしている。しかし、各社を取り巻く足元の経営環境と見通しは、これまでと比しても極めて厳しい状況にあることから、事業の持続性を確保し、組合員とその家族の生活を将来にわたって守るためには、積極的に事業改革の実現に挑む必要がある。

そのために私たちは、現場目線の提言を経営に反映させるため、組合員の英知を結集し、「JP労組が考える事業ビジョン（案）」を軸として、経営に改善を迫っていく。

一方、各地方の意見では、「新しいかんぽ営業体制の構築」や「郵便制度改正」などに伴う対応等、私たちの働き方に大きな影響を与える問題・課題が山積していることを背景に、不安や戸惑い、そして会社に対する不信感を抱える組合員の切実な声が多くあげられた。

JP労組は、現場で懸命に事業を支えている組合員の理解と納得なくして郵政事業の再生・創造はあり得ないとの認識をもって、各機関の連携を強化し、問題・課題を一つずつ確実に解消していくことで、企業風土改革につなげていく。

郵政事業の未来を切り拓いていくうえで、労使では解決できない課題もある。来夏の「しば 慎一」必勝に向けた取り組みは、私たちの声を政治の場へ届けることにより自身と家族の生活を守る闘いである。私たちはコロナ禍であっても各機関の創意工夫により組織拡大に取り組み、運動・活動を着実に進めてきた。その自信をもとに全ての組合員が一丸となり、勝利を掴み取るための運動を進めていこう。

以上、宣言する。

2021年6月17日
日本郵政グループ労働組合
第14回定期全国大会



★★★★ JP 労組加入の際は、総合共済に同時加入を！★★★★

One for all, All for one **総合共済** は助け合いの原点。【掛金月額750円】で、全10種類の共済金のお支払いを準備！

マイカー共済のお見積り依頼受付中！詳しくは支部役員またはJP共済生協南関東地方部まで♪

JP共済生協南関東地方部（tel045-222-6381 fax045-222-6382）

JP 労組南関東の活動情報はホームページで！ <http://minamikanto.jp/>